

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	保健体育IVA
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	04102	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教育	対象学年	4		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	「ACTIVE SPORTS」(大修館書店) 「運動と健康の科学」(鈴木製本所) / プリント ビデオ教材				
担当教員	鈴木 康平				
<b>到達目標</b>					
(ア) 備品を大切に準備やあとかたづけができる。 (イ) 各自の運動能力が把握できる。 (ウ) 基本的な技術を積極的に学習できる。 (エ) 協力してゲームを運営できる。 (オ) テニスの歴史とルールを理解できる。 (カ) 安全に留意して学習を進めることができる。 (キ) 食生活と健康の関係について説明できる。 (ク) 食事のバランスについて説明できる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
	数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力してスポーツテストが実施できる。	クラス内のメンバーと協力してスポーツテストが実施できる。	協力してスポーツテストが実施できない。		
	テニスに必要な技術を習得し、クラス内のメンバーと協力してシングルスとダブルスの試合が実施できる。	クラス内のメンバーと協力してシングルスとダブルスの試合が実施できる。	協力してテニスの試合が実施できない。		
	健康に対する食生活の重要性を理解し、自らの考えを述べるができる。	健康に対する食生活の重要性が理解できる。	健康に対する食生活の重要性が理解できない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	テニスでは、個人の運動能力に合わせて技術を学習し、試合で積極的に実施できる能力を育成する。また、生涯スポーツとして活用していけるように、試合のマナー、ルールについても学習する。保健では、食事と健康について考え、食生活をコントロールすることによって、健康の維持増進ができるようにする。				
授業の進め方・方法					
注意点					
<b>選択必修の種別・旧カリ科目名</b>					
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	スポーツテスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び)	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳びの測定を実施することができる。	
		2週	スポーツテスト(50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ)	50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの測定を実施することができる。	
		3週	スポーツテスト(シャトルラン)	シャトルランの測定を実施することができる。	
		4週	ボールコントロール(グリップ、ラケットコントロール、ボレーゲーム)	グリップの握り方やラケットコントロールが理解できる。	
		5週	ストローク(フォアハンド、バックハンド、半面ゲーム)	フォアハンドとバックハンドの動きが理解できる。	
		6週	3-3のゲーム(ボレー、ストローク、サーブ)	ボレーやサーブの動きが理解できる。	
		7週	サーブ(アンダーハンドサーブ、スライスサーブ、スピンスーブ)	いくつかのサーブ方法が理解できる。	
		8週	スマッシュとロブ	スマッシュとロブについて理解できる。	
	2ndQ	9週	テニスの歴史とルール	テニス歴史とルールが理解できる。	
		10週	ダブルスゲーム	ダブルスゲームの進行が理解できる。	
		11週	ダブルスゲーム	ダブルスゲームが実施できる。	
		12週	シングルスゲーム	シングルスゲームの進行が理解できる。	
		13週	シングルスゲーム	シングルスゲームが実施できる。	
		14週	食生活と健康(栄養、食生活の大切さ、バランス)	食生活と健康について理解できる。	
		15週	食生活と健康(栄養、食生活の大切さ、バランス)	健康維持・増進のための食生活について自らの考えを述べるができる。	
		16週			
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標</b>					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
<b>評価割合</b>					
	スポーツテスト	実技課題	保健	合計	
総合評価割合	20	60	20	100	
基礎的能力	20	60	20	100	